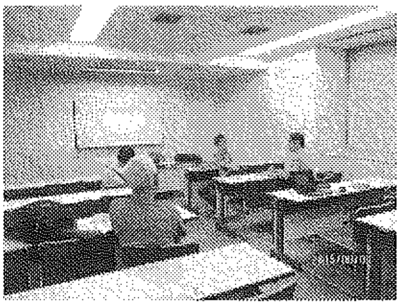
八障連通信
Hasshoren Tsushin
Vol.303
2015.9.8　八王子障害者団体連絡協議会月刊ニュースレター　Tel: 080-3451-8400　E-mail: hasshoren8.zim@softbank.ne.jp

事務局通信　Vol.18

8月6日(木)18時よりクリエイト学習室において、2015年度第2回の運営委員会が開かれました。前回運営委員会からの継続課題となっていた、10月15日(木)に開催予定の「市障害福祉課との懇談会」のテーマについて意見交換がなされました。障害福祉課との懇談会のテーマとして、①地域活動支援センター「わくわく」などにみられるように地活Ⅲ型の委託費だけでは安定的な運営ができにくいという問題、②家賃補助の削減(将来的には廃止)の動きがあるなかで、家賃補助に頼らざるおえない重度の障害者を抱える団体の課題、③視覚障害者の点字ディスプレイの支給についての現状と課題、④従来より関心の高い地震等に対する「防災問題」と、市からもテーマとして希望がだされている「虐待」問題等が出されている、の四点が出されていることを踏まえ、それぞれの課題を持つ団体との事前調整を含め、事務局を中心にさらに内容を煮詰めていくことが確認されました。

また、延期となった7月例会の隔月企画(まゆだまさん報告)は9月17日で行うよう調整が進んでいることが報告されました。以降、11月団体紹介は八王子視覚障害者福祉協会・はなみずきさんの報告を予定(現在交渉中)していますので、ご期待ください。(文責/山田)


参加人数は寂しかったが、討論は熱かった!

2015年度の会費納入をお願いいたします

今回の通信に、会費の一覧と郵便振替用紙(これを使うと振込手数料がかかりません)同封いたしましたので、お振り込みのほど、お願い申し上げます。　(会計　土居)

今後のスケジュール

11月7日(土)午後2時～クリエイトホール視聴覚室で、前年度に引き続き、知的障害者の地域生活を考える学習会を開催いたします。今回は、「こんなグループホームもあるんですね」と題して、ちょっと変わった取り組みをしているグループホームをご紹介する予定です。ぜひご参加ください。

八障連9月例会	9月17日(木)	8:00～20:00	クリエイト 第5学習室
市障害福祉課との懇談会	10月15日(木)	18:00～20:00	八王子市役所 802会議室
七法人学習会	10月31日(土)	14:00～16:30	東浅川保健福祉センター集会室
八障連知的学習会	11月7日(土)	14:00～16:30	クリエイト 視聴覚室

障害者福祉課との懇談会

10月15日(木)18:00〜20:00 市役所本庁802会議室で開催
ぜひご参加をお願いします。

八王子市障害者福祉課との懇談会を10月15日(木)に開催します。それに先立ち、杉浦代表と有賀氏(事務局長)、土居氏(会計)で福祉課と事前打ち合わせを行いました。

・日中活動系施設等運営安定化事業補助金(いわるゆ家賃補助)の来年度以降の市の方向性について

●日中活動系施設等運営安定化事業補助金(いわるゆ家賃補助)の来年度以降の市の方向性について
●視覚障害者の方々が使用する点字ディスプレイ購入の補助について
●地域活動支援センターの運営費について

以上を主なテーマとして伝えました。

運営安定化事業については、市より折あるごとに現状維持は難しい説明がされてきましたが、来年度から抜本的に補助事業を変更するプロジェクトチームを設置し審議しているとのことです。福祉課としても大事な補助事業であることは認識しているが、障害者自立支援法移行時の運営を安定させるための補助事業として何とか財務を説得して残した経緯がある。現状、収入が増額した事業所も増えているため運営は安定していると判断される要素がある。福祉課としては事業運営が厳しい事業所があることも認識しており、いきなり補助をなくすということは考えていないが、財政事情が厳しいのも現実とのことです。H21年は3千万円だったものがH26年には1億円以上膨らんでいる状況があるとのことです。八障連からは、新規事業所も増えていることから、このままの形での維持は難しいと認識している団体は多いと思うが、重度の障害者が利用している事業所は収入が厳しい状況にあること、そうした事業所と利用している障害当事者の状況も施策としてフォローしていく必要があることを地域生活支援センターの話も踏まえて伝えました。懇談会当日には正式に決定した補助事業の形が提示されるかは未定ですが、その時点で伝えられる情報はおししていただける予定です。

点字ディスプレイについては、担当課へ確認するとのことで、懇談会で回答が確認できるかと思います。持ち運びが容易な点字ディスプレイはデジタル情報をその場で点字で確認できる優れもので、視覚障害者の方々にとってとても有用なものです。厚生労働省告示第529号でそれまでの対象であった盲ろうから盲ろう、視覚障害と対象が拡大されました。しかし日常生活用具給付は地域生活事業のため、給付は市区町村の判断となります。現在、八王子市は盲ろうのみを給付対象にしている現状があります。

地域活動支援センターについては、いわゆる家賃補助の話の中でも市へ伝えましたが、新法移行後に就労継続支援B型事業所は最低工賃が義務づけられ、授産事業が活発に変化している事業所が増えていると思います。一方、そうした作業活動にはなじまない障害状態の方々、或いは精神障害者の方々の中には、通所ペースがなかなか安定しないなど、障害特性もあること。重度の方やわくわくのような余暇支援等、工賃を得るためではないけれど必要なサービスを展開している事業への支援の必要性を伝えました。

市側からは、H25年6月に制定した障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)がH28年4月に施行されることをうけ、市独自で制定した障害者差別禁止条例との整理を現在行っており、その件について、みなさんの意見を伺(うかが)いたいとのことでした。当日いきなり説明をされても意見を出すのは難しいと思われるので、その時点での市の案を事前に情報としていただくことになりました。

懇談会当日は、多くの参加をお願いできればと思います。通所事業所にとっては関心事の高いテーマも

ありますが、障害種別を超えて、多くの問題を共有、認識していければと思います。(文責/有賀)

点字ディスプレイとは？

パソコンの画面に表示された文字情報を視覚障害者が指で読むことを目的として開発されたのが点字ディスプレイです。ピンを物理的に持ち上げて点字を表すため、「ピンディスプレイ」とも呼ばれます。

〜ameliaのサイトより引用〜

連載コラム

B型肝炎闘病記

パオ　小濵　義久

《闘病前史　その3》

ウイルスを持っていても発病するのは10人に1人、つまり1割しか発病しないという数字に幾分高を括っていたところがある。またそれまで10数年の間、いくらお酒を飲んでも肝機能値(GOT、GPT、γ-GTP)に異常が出たことが1度もなかったのである。ただ、小さい時よりいろいろ病気がちでいろんな臓器を病んでいたので、悪い予感が頭の片隅をよぎってはいた。だから、年に1度の健康診断だけでなく、知り合いの精神科医のお手伝いに行っていた診療所で数か月に1度血液検査をしてもらうことにした。順調に正常値を重ねて行き、その医者ともよくお酒を飲んだ。

駒込病院受診から1年を過ぎた年の年末の診療が終わった時に、精神科医から渡された血液検査の結果を見て、顔から血が引いていくのが分かった。GOT、GPTが生まれて初めて異常値を示していた。ほんのちょっと高めだけだったので、普段ならそんなに気にならないような数字だったが、状況が状況だけに来るものが来たと、ずしーんと心臓に応えるものがあった。39歳で病死した母と同じ運命を辿(たど)りそうな感覚を小さい頃より持っていたので、早死するのではと何処かで覚悟していたとは言え、ショックだった。

早速勤めていた病院の医局の本棚から、内科学や肝臓病の本を借りて帰り、一通りの肝臓についての勉強をした後、B型肝炎に関する資料を探し回った。年末・年始どころではなかった。通り一遍のことしか書いたものしか手に入らない。最新の研究情報はと焦って探していたら、年が明けて、虎の門病院の熊田博光Drが B型肝炎の治療法を見つけたという新聞記事に出会った。国家公務員共済病院であり、当時は公務員以外には門戸を開いていなかった。虎の門病院が東大系列の病院だとは知っていたので、私の臨床の師匠である石川義博Dr(東大卒)に紹介状を書いてもらい、病院を訪ねることにした。すごく患者が殺到しているようで、初診の予約は2ヶ月待ちとのことで、2月にやっと受診となった。紹介状がものを言い、最初から熊田Drに診てもらえることになった。岐阜大学の医学部を卒業して、すぐに虎の門病院に就職した医師で、私より1歳上だという事は事前に分かっていた。実際に会ってみると柔和で話しやすい先生だった。(続く)

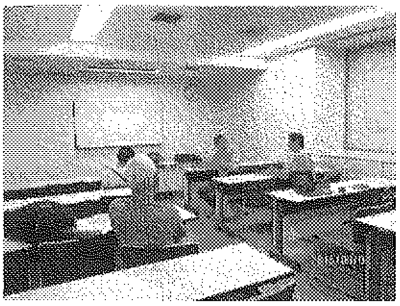
ガ〜〜〜〜〜ン!

八障連通信
Hasshoren Tsushin
Vol.303
2015.9.8　八王子障害者団体連絡協議会月刊ニュースレター　Tel: 080-3451-8400　E-mail: hasshoren8.zim@softbank.ne.jp

事務局通信　Vol.18

8月6日(木)18時よりクリエイト学習室において、2015年度第2回の運営委員会が開かれました。前回運営委員会からの継続課題となっていた、10月15日(木)に開催予定の「市障害福祉課との懇談会」のテーマについて意見交換がなされました。障害福祉課との懇談会のテーマとして、①地域活動支援センター「わくわく」などにみられるように地活Ⅲ型の委託費だけでは安定的な運営ができにくいという問題、②家賃補助の削減(将来的には廃止)の動きがあるなかで、家賃補助に頼らざるおえない重度の障害者を抱える団体の課題、③視覚障害者の点字ディスプレイの支給についての現状と課題、④従来より関心の高い地震等に対する「防災問題」と、市からもテーマとして希望がだされている「虐待」問題等が出されている、の四点が出されていることを踏まえ、それぞれの課題を持つ団体との事前調整を含め、事務局を中心にさらに内容を煮詰めていくことが確認されました。

また、延期となった7月例会の隔月企画(まゆだまさん報告)は9月17日で行うよう調整が進んでいることが報告されました。以降、11月団体紹介は八王子視覚障害者福祉協会・はなみずきさんの報告を予定(現在交渉中)していますので、ご期待ください。(文責/山田)



参加人数は寂しかったが、討論は熱かった!

2015年度の会費納入をお願いいたします

今回の通信に、会費の一覧と郵便振替用紙(これを使うと振込手数料がかかりません)同封いたしましたので、お振り込みのほど、お願い申し上げます。　(会計　土居)

今後のスケジュール

11月7日(土)午後2時～クリエイトホール視聴覚室で、前年度に引き続き、知的障害者の地域生活を考える学習会を開催いたします。今回は、「こんなグループホームもあるんですね」と題して、ちょっと変わった取り組みをしているグループホームをご紹介する予定です。ぜひご参加ください。

八障連9月例会	9月17日(木)	8:00～20:00	クリエイト 第5学習室
市障害福祉課との懇談会	10月15日(木)	18:00～20:00	八王子市役所 802会議室
七法人学習会	10月31日(土)	14:00～16:30	東浅川保健福祉センター集会室
八障連知的学習会	11月7日(土)	14:00～16:30	クリエイト 視聴覚室